

審査講評

岐阜市新庁舎建設基本及び実施設計業務のプロポーザル審査について

岐阜市百年の大計となる新庁舎建設の羅針盤となる「岐阜市新庁舎建設基本計画」では、新庁舎には現在の分散している庁舎を統合し、窓口のワンストップサービスなどの利便性の向上を図り、又、南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生時に復旧・復興の拠点となる防災機能を備えるとともに、市民に親しまれ、長く使い続けることが求められています。その新庁舎に相応しい、柔軟かつ高度な発想力、設計能力、豊富な経験等を有する事業者を選定するため、公募型プロポーザルが実施されました。

新庁舎建設基本及び実施設計業務委託事業者審査委員会は、これまでに3回の審査委員会を開催し審議を重ねてきました。第1回審査委員会は昨年度2月4日に開かれ、プロポーザルの概要、プロポーザルの評価項目及び評価基準等について審議を行い、3月2日の第2回審査委員会では、代表企業として参加表明書を提出した4者について、事務所の能力、技術者の能力及び地域経済への貢献等を総合的に評価し、プロポーザルの技術提案書の提案者として4者すべてを選定しました。又、設計共同体（JV）の構成員となる市内企業の参加には15者の応募があり、15者すべてが参加資格審査を通過しました。5月8日の第3回審査委員会では、技術提案書を提出した4者について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施するとともに、課題に対する各者の技術提案を多様な観点から審査を行い、一次選考と二次選考の合計得点が最も高かった、株式会社佐藤総合計画中部事務所を最優秀案事業者として特定しました。

4者はいずれも、豊富な設計実績を有する総合設計事務所であり、担当する総括責任者等の実績も申し分なく、真摯に取り組んだレベルの高い技術提案書を提出されました。特に今後、南海トラフ巨大地震等の発生が強く懸念されることから、自然災害に強い災害対応、復旧・復興拠点としての庁舎の提案については、各者の構造設計能力だけでなく、意匠・設備設計能力を含めた総合企画力を結集した提案がなされました。

その中で、最優秀案事業者は、事務所の能力、技術者の能力及び地域経済への貢献など一次選考において、最も高く評価されました。また、二次選考の技術提案書において、計画地となる「つかさの森」の特性を活かした周辺景観との調和及びにぎわいの創出については、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」と連携してにぎわいの相乗効果を生むために、新庁舎からの市民広場への動線計画に創意工夫がなされた提案として高く評価されました。さらに、建物のライフサイクルに配慮した視点については、長い日照時間を活用する太陽光発電や、豊富な地下水を熱源に利用した空調システムの構築など、

岐阜の自然エネルギーを最大限に利用する提案などが評価されました。また、設計見積額の比較についても優位となり、総合的に最優秀案に特定されました。

その他の各者の提案についても、各者の持てる技術力を十分に発揮された、レベルの高いものでした。

最後に、本件プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた各関係者に心より感謝致します。また今後、特定された技術提案書を基に、さらには、最優秀事業者を審査する過程で議論されたさまざまな委員会での意見を考慮しつつ、市民に親しまれ、市民の誇りとなる岐阜市新庁舎が立派に整備されることを祈念いたします。

新庁舎建設基本及び実施設計審査委員会
委員長 小川英明